

2. 学校配置図

〈図1〉明治時代の配置図



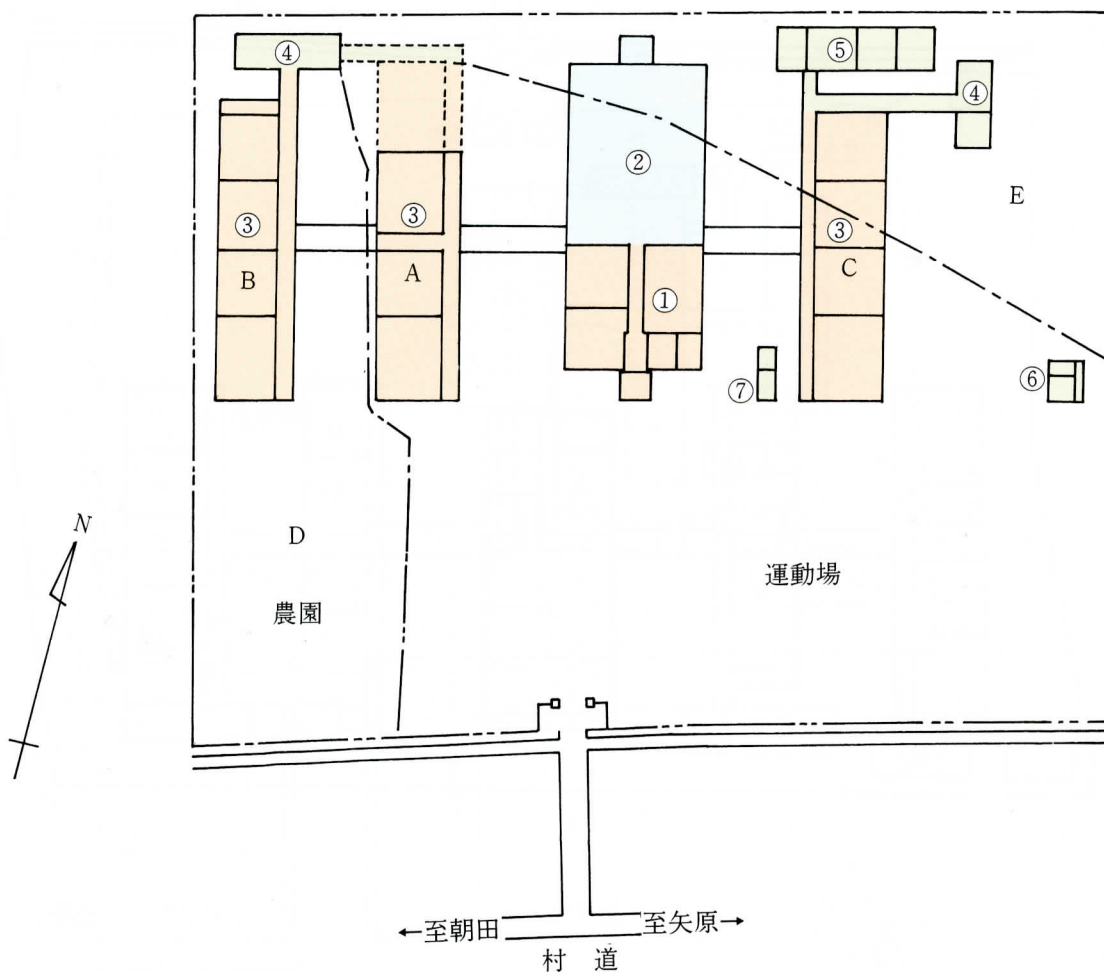
建 物 概 要

記号	名 称	摘 要
①	校舎	3 棟、教室他12室
②	管理	校長、職員室、応接
③	講堂	ステージ、物入含む
④	便所	
⑤	付属家	宿直、湯沸、農具舎
⑦	植物園	
①	池	
⑦	農園	
①	実習田	

この配置図は、明治末期のころと思われる。校舎の建築年代は、東校舎（①C棟）が明治28年12月に落成。本館（②③棟）および西校舎（①B棟）の2教室は翌29年に建てられたものと推定される。①A棟は明治44年の建築。

大正初年には、③は保健室となり、東校舎（①C棟）は式場校舎として、間仕切りを取りはずして式典が行われた。

〈図2〉大正時代の配置図

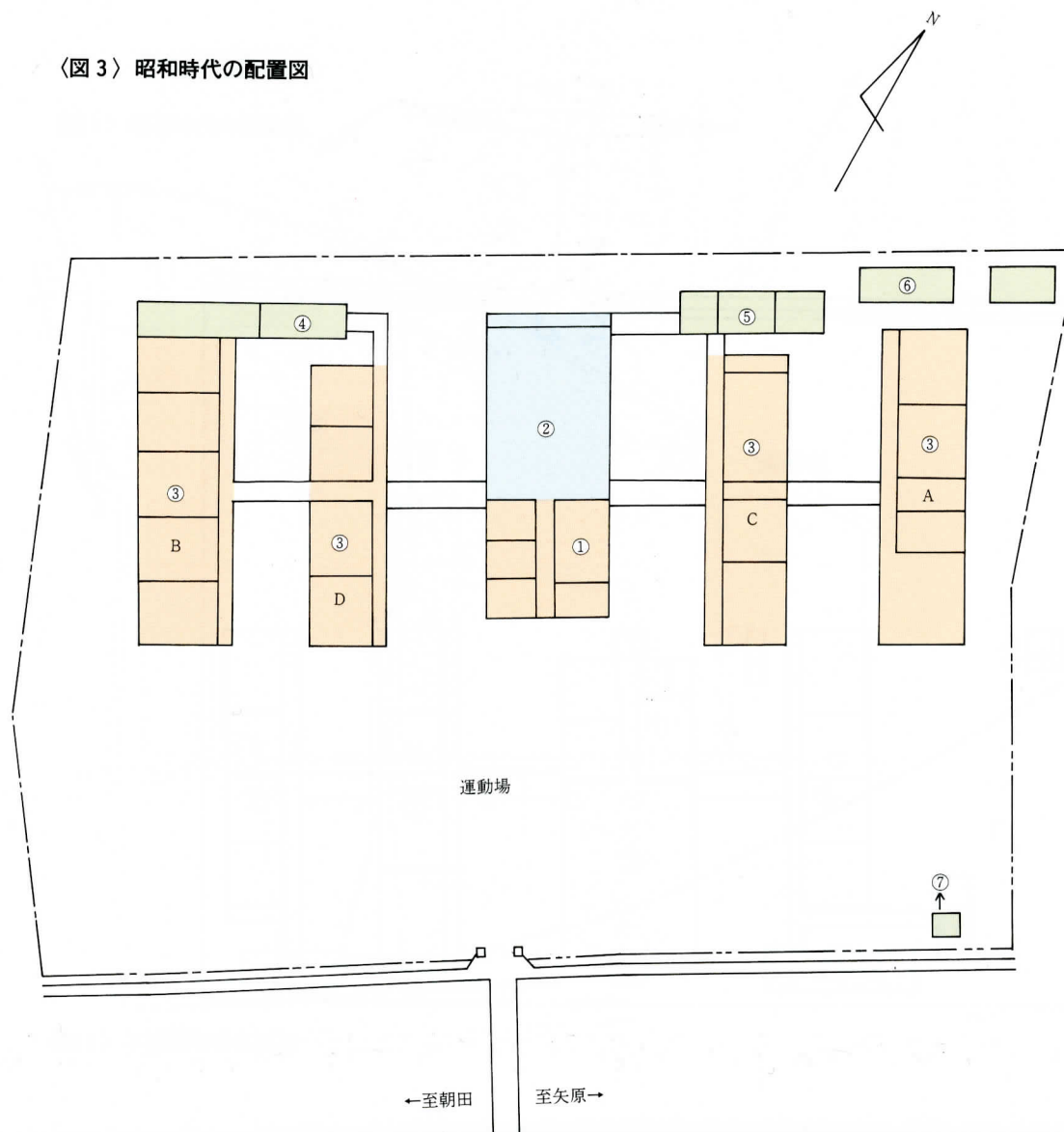


建 物 概 要

記号	名 称	摘 要
①	本館	校長、応接、職員、養護室
②	講堂	ステージ、物入含む
③	校舎	3 棟、11教室等
④	便所	2 棟
⑤	付属家	宿直、小使室、湯沸、物入
⑥	農舎	農機具入、他
⑦	井戸、水汲場	上屋付き

--- は、明治時代の校地
大正11年D・Eの校地拡張・講堂新築①②
校舎移転〈図1〉の①B・①Cを本図の③Bと③Cに移転
昭和3年 ---- 線部分1教室増築

〈図 3〉昭和時代の配置図



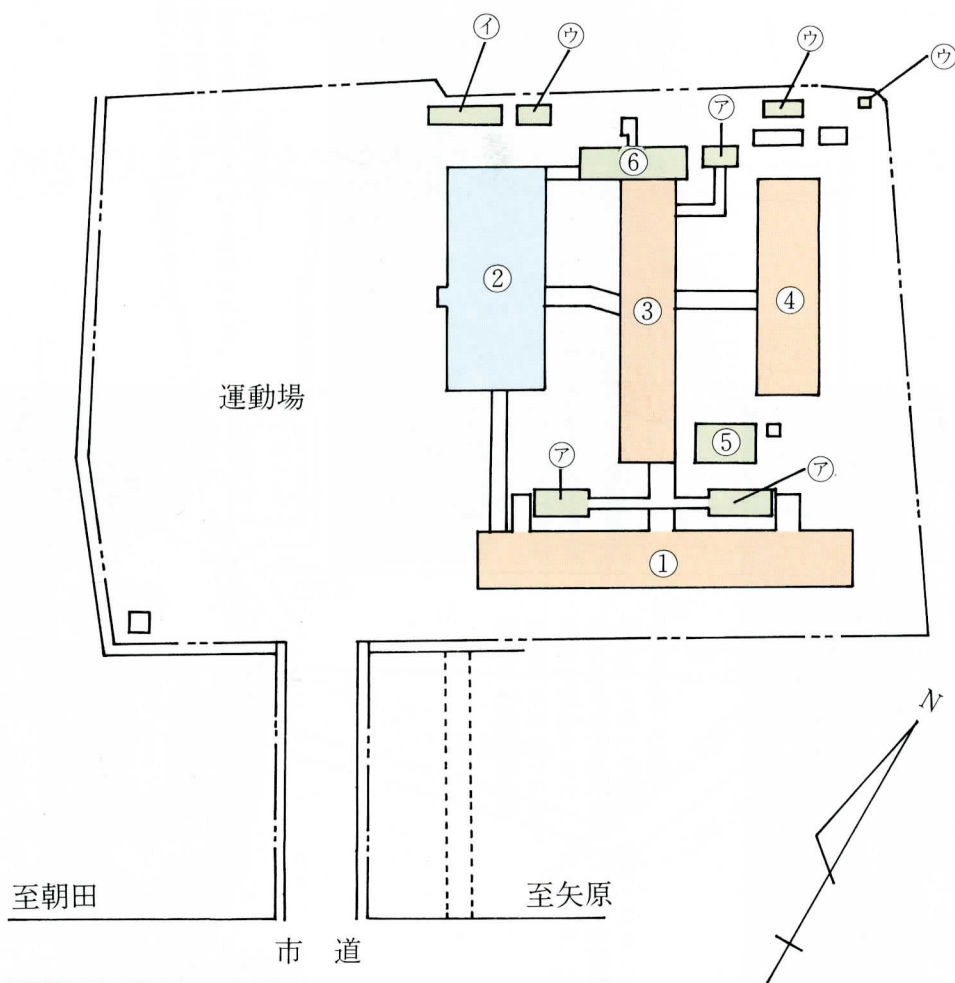
建 物 概 要

記号	名 称	摘 要
①	本館	校長、応接、職員、養護
②	講堂	ステージ、物入
③	校舎	4 棟、14教室等
④	便所	2 棟
⑤	附属家	宿直、用務員
⑥	農舎	農機具入、他
⑦	奉安殿	

昭和 5 年 9 月 特別教室棟 (③A) = 理科室・裁縫教室等を新築

昭和13年 4 月 校地を西側に715坪拡張
 〈図 2〉の③Bを解体し、校舎 1 棟 5 教室 (③B) を新築

〈図 4〉モデル校舎時の配置図



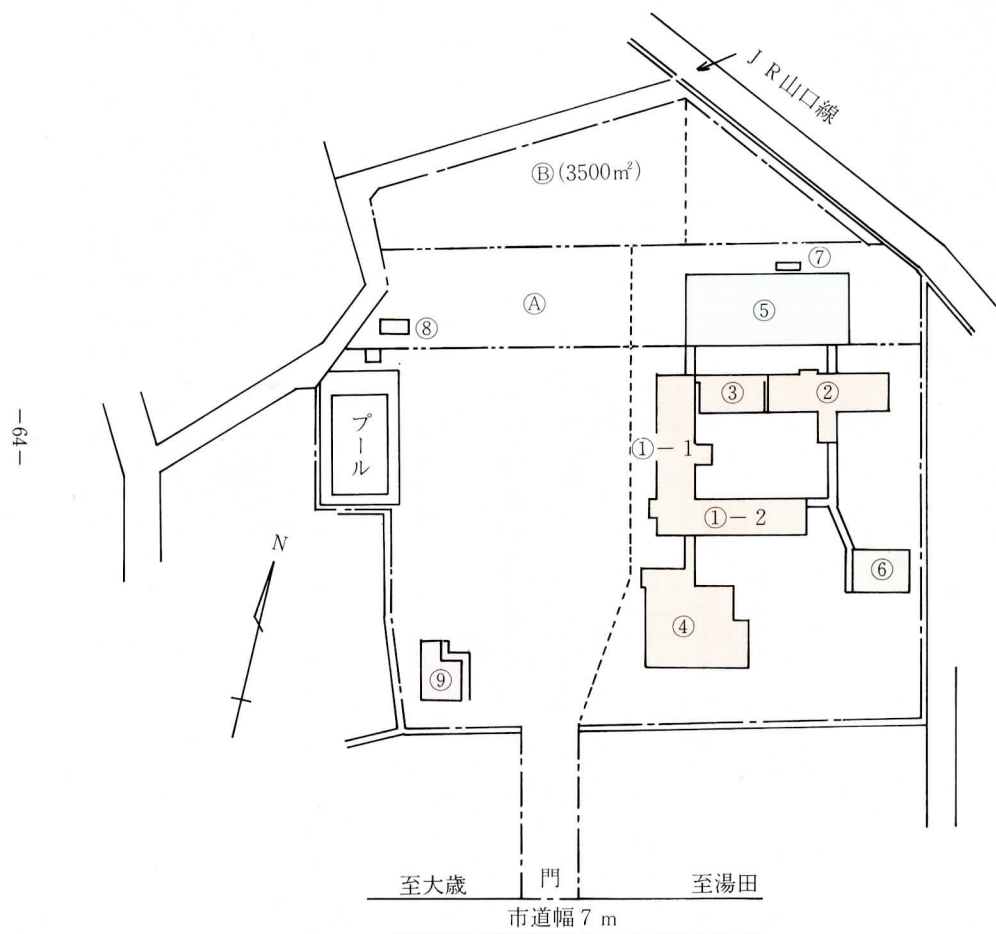
建 物 概 要

記号	名 称	摘 要
①	モデル校舎	2 階教室12室、指導室 6 室
②	講堂棟	講堂、校長室、職員室、養護室、放送室
③	特別教室棟	図書館、資料室、視聴覚室、家庭室
④	特別教室棟	理科室、同準備室、音楽室、工作室
⑤	給食室棟	
⑥	付属家	宿直室、炊事場、用務員室
⑦	便所	
㊦	器具庫	
㊧	その他	農具庫、倉庫、焼却炉

昭和28年 〈図 3〉の③C校舎を解体して③B校舎を③に移転改造

昭和29年 モデル校舎①を新築
 〈図3〉の③D校舎解体

〈図5〉現在の校舎の配置図

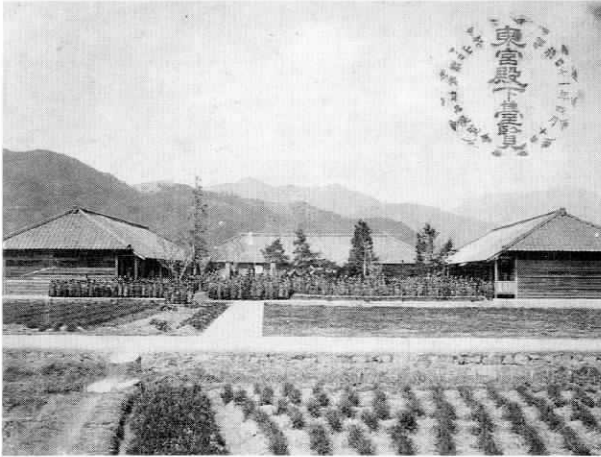


建 物 概 要

記号	建物名	建設年 面 積	摘 要
①-1	本館	昭55年 1,600㎡	鉄筋コンクリート2階 事務、校長、職員、放送、図書、家庭
①-2	教室棟		鉄筋コンクリート3階 普通教室（9教室）
②	教室棟	昭58 949㎡	鉄筋コンクリート3階 普通教室、多目的教室（各3室）
③	教室棟	平6年 493㎡	鉄筋コンクリート3階 普通教室（6教室）
④	特別教室棟	平7年3月 1,541㎡	鉄筋コンクリート3階 保健室、理科、音楽、視聴、図工、多目的3室
⑤	体育館	昭52年 728㎡	鉄骨平屋建 フロアー、ステージ、倉庫、トイレ
⑥	給食棟	昭54年 151㎡	鉄骨平屋建 調理、配膳室
⑦	更衣室	平1年 14㎡	プレハブ 屋体用
⑧	プール 付属屋	昭41年 27㎡	木造平屋建 プール専用更衣室
⑨	保育棟	平3年 82.80㎡	鉄筋平屋建 （校外施設）さわやか学級

(参考) ・建物敷地 6,637㎡
 ・運動場 9,772㎡ } 学校敷 計 16,806㎡
 ・その他 397㎡

昭和40年4月 プール竣工
 昭和48年2月 運動場拡張④
 昭和52年3月 体育館竣工⑤
 昭和54年9月 給食室完成⑥
 昭和55年3月 新校舎完成①-1、①-2
 昭和61年3月 運動場拡張（含駐車場）③3500㎡
 平成6年3月 校舎増築（6教室）③
 平成7年3月 多目的室を設置した新校舎完成④



◀明治時代の校舎

明治41年 全校児童・教職員 校庭
に整列 撮影のもの
運動場は校舎の東側（右方）

▶大正時代の校舎

大正11年講堂を新築・校庭を道路側
とし、講堂をはさんで川の字型とな
る。



◀昭和初期の校舎

特別教室棟を新築し、5棟となる（写
真左端の軒先が新築校舎）。大歳郵便
局舎が校舎の前にできたためか、全
景写真が見当たらない。
写真は農業実習風景

▶モデル校舎（昭和29年～

講堂前の運動場にモデル校舎が出来、
校庭が西側に移る。
門道も西寄りに移り拡幅される。



3. 学校行事の変遷

1) 明治時代の学校行事

学校における主な行事といえば、「入学式」「修学旅行」「遠足」「運動会」「学芸会（文化祭）」「音楽会」「卒業式」などがあげられるが、明治28年の開校から記録してある『沿革史』の中から、その当時の学校行事の様子を推察したい。

ア 明治30年の学校行事

- 4月15日 入学式
- 5月16日 修学旅行
 - ・参加者 高等科 男子42人・女子15人
 - ・行程（1日）
黒川——（船）——東津——陶——鑄銭司——長沢池——大道——佐野峠——鎧ヶ峠——平川——帰着
- 5月28日 地久節儀式、唱歌「地久節」の合唱
- 5月31日 養蚕伝習所の参観（平川・尋常4年生以上）
- 8月11日 暑中休業（～31日）
- 11月3日 天長節儀式
- 11月7日 北部各小学校運動会
 - ・参加者 尋常科4年以上（尋常科3年以下と女子は参観）
- 11月20日 遠足
 - ・尋常科1年………村内の和田原
 - ・尋常科2年・3年女子…小郡村亀谷山
 - ・尋常科3年男子・4年…名田島村
- 12月20日 開校1周年式 午後に第1回運動会
- 12月25日 冬期休業
- 1月1日 拝賀式
- 1月8日 始業式（菓子の配布）
- 2月11日 紀元節祝賀式
- 3月11日 学期末試験
- 3月26日 卒業証書授与式
- 3月28日 学期末作業

以上の事がらが主な行事として記録されているが、各行事の内容については、詳しい記録が残っていないため、当時のことを記憶している人の話によると、おおよそ次のような特徴が推測される。

- ①祝祭日には登校し、特に、3大節（新年・紀元節・天長節）には拝賀や教育勅語の拝承があった。
- ②運動会は、明治34年ごろまでは、女子は競技に参加することはなく福引きやボール送りや玉入れなどをした。明治37年ごろから、ダンスなどをした。
- ③遠足は、着物に草履ばきという服装で、握り飯や日の丸弁当を風呂敷に包み、背に斜めにかけて徒歩で行われた。

イ その後つけ加えられたり、改正されたりした行事

- ①教育幻燈会 明治33年11月29日
- ②修学旅行 明治33年10月13日
 - 高等科3・4年男子 萩方面 3泊行程
明治35年10月30日
 - 高等科3・4年生 小野田方面 1泊行程
明治43年10月1日
 - 高等科4年生 初めての県外修学旅行（厳島）
- ③身体測定 明治34年4月17日
 - 明治33年の省令により、身体測定を学校医が4日間実施
- ④父兄懇話会 明治36年から実施

学校制度が整えられるにしたがって、学校行事も充実してきており、ひとつのパターンができ上がってきたといえよう。また、明治43年には、尋常科3年生以上で、地区の苗代を回り、蛾やその卵などを駆除する活動も始まっている。おもしろいことに、採集した蛾や卵の数も記録されており、約11万7千の蛾と15万の卵を採取したというから、当時の小学生の労力というのは、大きなものだったに違いない。

2) 大正・昭和初期の学校行事

このころは、明治時代のものとほとんど変わらなく学校行事が行われている。12月20日の開校記念式典の後は、決まって学芸会や展覧会（野菜及び手工芸品の展示）が行われ、児童たちにとって、楽しみのひとつになっていた。

大正3年5月1日から、毎月の初めに、全校児童が朝田神社に参拝することとなり、毎月1回の大掃除などを行ったりしていたのが特徴的である。また、祝祭日には学校で儀式が行われたことは既に紹介済みだが、このころから村民の参加が多くなり、村を挙げての行事となっていった。さらに、招魂祭への行事に参列したり、9月に行われる農村デーの一環として、図画や書き方の展覧会を学校で開催したりと、地域社会の行事へも積極的に参加していた時代であった。

3) 戦後の学校行事

戦後の学校行事は、宗教や皇室にかかわることを除いては、ほぼ戦前の流れを踏襲して行われてきた。昭和40年度の学校行事を例に見ると、社会見学と修学旅行、そして遠足という形でその目的をはっきりさせたこと。演劇的な行事よりも学習とのかかわりの強い音



吉敷郡北部連合体育会（大正8年）小学校鈴割り



大正12年学芸会（高等科男子）平和の芽生



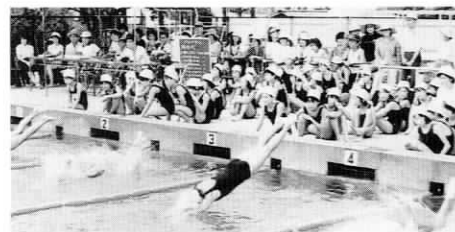
校内音楽会（昭和40年）

楽を中心にしたものになったこと、プールの設置に伴い水泳大会が実施できるようになったことなどが、このころの特徴である。

昭和43年の新学習指導要領で、特別活動が新設され、交通安全教育の必要性が強調され始めると同時に、本校でも県警から指導者を招いて交通教室を行うなど、時代に即応した行事が取り入れられるようになってきた。

昭和53年には、学校指導要領が改訂され、『ゆとりのある充実した学校生活』をキャッチフレーズに、学習内容が1割程度精選され学校創意の時間が新設された。それまでの知識・技能中心の一斉的な学習の仕方から、児童主体の学習への変容を図ったものであった。しかし、校内暴力、登校拒否、いじめ、自殺など、青少年の問題行動が続発しており、まさに学歴偏重の歪みが顕在化した結果となった時代であった。本校では、この学習指導要領の主旨を踏まえ、七夕集会・クリスマス集会・6年生を励まし送る集会などの児童会主体の集会を昭和53年から実施した。昭和56年にも、児童主体の行事であるたこあげ大会を県陸上競技場サブグラウンドで開催し、今日に至っている。

このように学校行事の変遷を振り返ってみると、その時代における学校の姿が浮き彫りにされてくる。日の丸弁当で何時間も歩いた遠足や女子の出番のなかった運動会、国家的主要祝日に地域を挙げて行われた儀式やその儀式と抱き合わせで行われた学芸会や競技会など、過去の行事には大人主導型の行事が多い。現在は児童主体のものにほとんど変化してきている。答辞や送辞を行い、成績優秀な児童が総代となって卒業証書を受け取っていた卒業式の形式は、ほとんどの学校で行われなくなった。



校内水泳大会



県警の指導による交通教室



七夕集会



たこあげ集会高学年（県陸上競技場）

ことも必要不可欠なことである。その手がかりになるのが、授業であるのはもちろんのこと、学校行事もその一端を担っているのであると確信している。

4. 児童の学校生活

1) 児童の服装

学校の象徴的なものというのと、校歌や校舎などがあげられるのであろうが、保護者にとっては、制服姿の我が子を見て、子供の成長を感じることも多いであろう。学校に残された写真の多くは卒業時のものが多いが、これらの写真から当時の社会や経済さらには文化をも類推できる。他校と同様に、本校児童の服装の場合も、明治期において着物であったものが、昭和の初期まで続き、その後洋服が一般的になり、昭和25年ごろに現在の制服の形になっている。

ア 明治時代から大正時代の服装

右は明治33年の卒業式の時の写真である。当時は就学率がまだ低い時代でもあり、わり合いに裕福な家庭の子弟であったにちがいない。着物姿にげた履きという服装である。教員の中にも、日本髪や着物姿が見られる。明治時代の終わりになると、女子の着物のそでが、元禄そでから筒そでに変わる。



明治33年 高等科卒業生

イ 大正時代の終わりの服装

大正時代の終わりのごろになると、農山村にも服装の近代化の波が次第に押し寄せてくる。大正14年の卒業式の写真には、着物姿に混じって、詰め襟の学生服が見られるようになってきた。



大正14年 高等科卒業生

ウ 昭和の初めの服装

昭和5年の写真を見ると、男子は全員学生服を着用しているが、女子の中にはまだ着物姿が見られる。昭和12年、日増しに戦時色が濃くなっていく中で、学生服に混じって、



昭和5年 尋常科卒業生

国民服の児童の姿が見られるようになってくる。

エ 戦後の服装

昭和23年の卒業式の写真には、現在使われているセーラー服姿の女子が見られる一方で、もんぺやげた履きの児童や教師の中にも国民服の姿があり、物資が不足している時代を象徴している。



昭和23年 卒業生

オ 制服の制定

現在のような制服になったのは、昭和25年からである。当時、本校PTA副会長に就任されていた村上藤子氏は、制服の制定のいきさつについて次のように思い出を語られたので紹介したい。

敗戦のみじめなどん底生活も、昭和24年ごろになると、やや余裕もできて、明るさを取り戻していた。学制も6・3・3制と替わり、PTAの活動も軌道に乗ってきたところである。物資も年を追って豊富になり、大歳小にも制服を制定しようという気運が盛り上がってきた。

その当時の家庭経済は、現在のように平均的に豊かではなかった。よって、子供の服装も家庭により、かなりの差があったように思う。特に、遠足や見学に出かける時には、ずいぶん個人の差があった。そうした中にあるは、制服の必要性を感じる人が当然のように多くなってきた。しかし、一方では、家庭にある服をリフォームして作るとか、安い布地で必要に応じて新調するなどの意見もあり、反対する人も多かったが、時間をかけての話し合いによって、ようやく制服を制定する運びとなった。

夏冬ともに、男子の制服は早く決まったが、女子の服は、なかなか決まらなかった。最終的に、女子の冬服はセーラー服で、ヨークに2本の赤線を入れることで決着した。すでに、鴻南中学校が白線のセーラー服に決めていたので、5・6年生のころ、小さくなって新調しても、赤線を白線に変えることで、中学校でも使用できるということで落ち着いた。また、白線では汚れが目立つことを理由に赤線にしたという理由もある。夏服は、セーラー服では背中が暑いので、細いテラー襟にすることとした。

赤線のセーラー服姿の低学年は、特別かわいく見えるし、半世紀も経つ、現在まで続いていることを大変うれしく思う。

児童生徒と制服というイメージは、戦後の学校生活の中で長い間定着してきた。しかし、最近では、制服という言葉が使われなくなり、標準服という言葉に置き換えられつつある。さらに、標準服もやめて、自由服（いわゆる私服）という言い方にするという学校も見られるようになってきた。社会の価値観が変化してきたといえるのか、個人の自由意志を尊重するという立場なのか、国際化への形式的な対応といえるのか、定かではないが、学校生活における児童の服装に対する意識が変化してきていることは確かなようである。

2) 校歌の歴史

ア 戦前の校歌

戦前に歌われていた校歌は、昭和10年ごろに作られたものらしい。どのようなきさつで作られたかは定かではないが、この時期に近隣の小学校が次々と校歌を制定する動きがあり、本校もこれに呼応した形で制定されたのであろうと推測できる。

この校歌は、昭和20年、終戦のころまで歌われており、特に、朝会時には必ずといってよいほど歌われた。当時の卒業生にとっては、懐かしいメロディーである。同窓会のときなど、おのずから口ずさまれ、今もなお心のつながりの役目を果たしている。

作曲は、大歳村立大歳尋常高等小学校当時の訓導伊藤梅彦氏の作詞作曲であると伝えられている。伊藤氏は昭和6年から9年間の長きに渡って本校の音楽教育に尽力を尽くされ、校歌制定当時は30歳であった。



校 歌

- | | | |
|---|-----------------------------------|-------------------------------|
| 一 | 鎮守の森の
神の守りも
瑞穂の黄金
御国の光 | 程近く
しげくして
末遠く
めにさやか |
| 二 | 榎野の流れ
春はつつみの
心も明るく
止まぬ進み | 水清く
花の雲
むつみあい
身に新 |
| 三 | 此方にむこう
つきぬ教を
誠は赤く
御親の血潮 | 碑文の
思うとき
燃え榮る
身にたぎる |
| 四 | その名もおえる
気負う心の
御恵深き
命の限り | 大歳の
ゆるみなく
大御代に
尽くしけん |

イ 現在の校歌の制定

「朝の光だ さわやかな」の歌いだして始まる現在の校歌は、昭和29年に制定された。当時の学校長は、松岡留治氏である。松岡氏は、モデル校舎の建築や教育施設の整備に尽力を尽くされるも、過労により志半ばにして急逝された校長であり、氏の教育的情熱はその後松岡文庫として、大歳小学校児童に大きな影響を与えたことについては、前項の「学校教育制度の変遷」でふれたとおりである。

この校歌は、当時の6年生田中恵子さんの作詞、弘中策元山口大学教授の作曲によるものである。松岡校長は、視聴覚機器などの充実だけでなく、校庭への植樹、児童会の活性化などに着手しており、学校の雰囲気明るく活気にあふれたものになるような学校経営の一環として、校歌の作詞を児童の手にゆだねたことは、子供が主役となって営む大歳教育を進めようとしていたかが推測できる。

当時を思い出して、田中さんは次のように語っている。

「担任の先生から、クラス全員に校歌をイメージして詩を作るようお話があり、各自が思い思いに創って、先生に提出したと思います。私も、母親と相談しながら、イメージをふくらませたことを思い出します。夏休みには、講堂で映画会があったり、新しくできたモダンなアーチ型の石津橋の下(八光面)で水泳をしたりしたのが、当時の一番の思い出となっています。」

校歌は、松岡校長の後任の富永政雄校長が、田中さんの詩にクラスの児童の意見を取り上げて、昭和29年に作られ、今日までの40年間、歌い継がれている。



校歌

- 一、朝の光だ さわやかな
季節の風が 吹いてくる
きょうも楽しく 肩ならべ
あかるいちえを みがこうよ
大歳 大歳 われらの小学校
- 二、大地にめぐむ 青草の
強いいのちを みならって
若い力と まごころを
あわせてみんな 伸びようよ
大歳 大歳 われらの小学校
- 三、ぼくの わたしの せいかつが
平和なきょうど きずくのだ
正しくななく むつまじく
あすをめざして 進もうよ
大歳 大歳 われらの小学校

(執筆 和田哲夫)

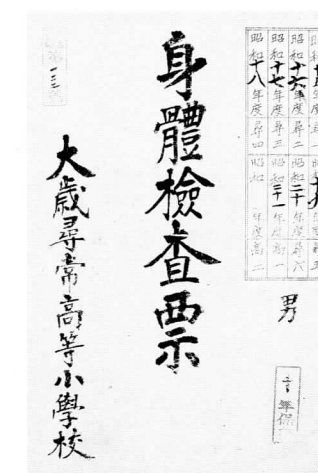
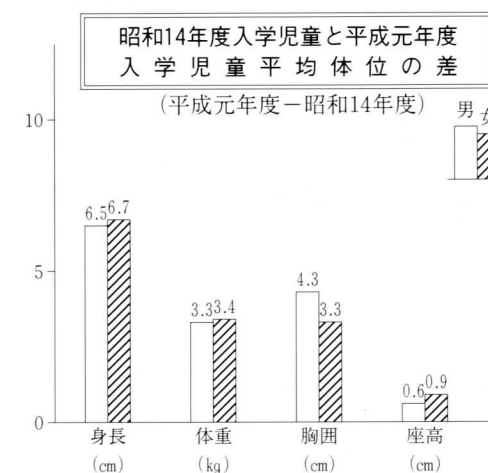
3) 大歳小学校児童の体位の変化

百周年の歴史の中で、最も古い健康診断票は昭和13年度のもので、男女共に揃っているものは昭和14年度からである。昭和30年度迄の中には資料の無い年度もある。これは、戦前・戦後の復興期・高度経済成長期から最近迄の3期に大きく分けることができるが、その間の、児童体位の変化をまとめると次のとおりである。

1. 昭和13年から最近までの体位の変化

- ①戦前の昭和14年と平成元年度の入学時の単純比較を見ると、身長伸びは著しく、座高の伸びは僅かで、現代っ子の脚長の体型に移行しつつある。(資料1)
- ②1学年の入学時から5年間の平均体位の増加量を比べると、戦前、戦後から現代まで緩やかな上昇はあるが余り変化は見られない。しかし体重については45年以降増加傾向が見られ肥満児も出始めた頃でもある。(資料2)

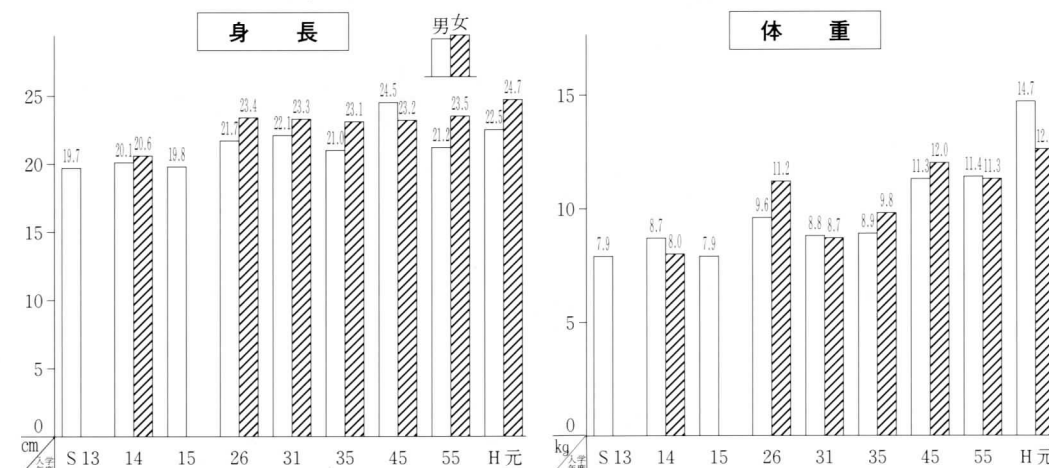
(資料1)

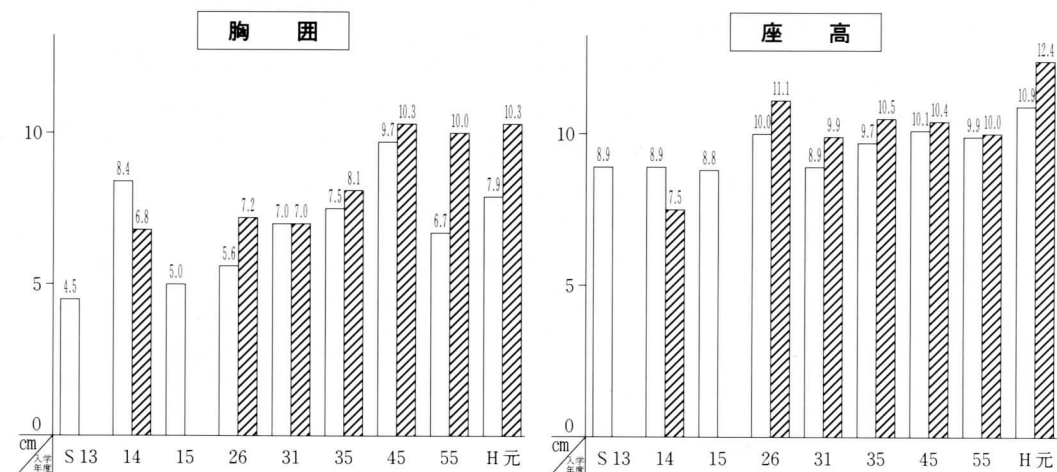


身体検査票

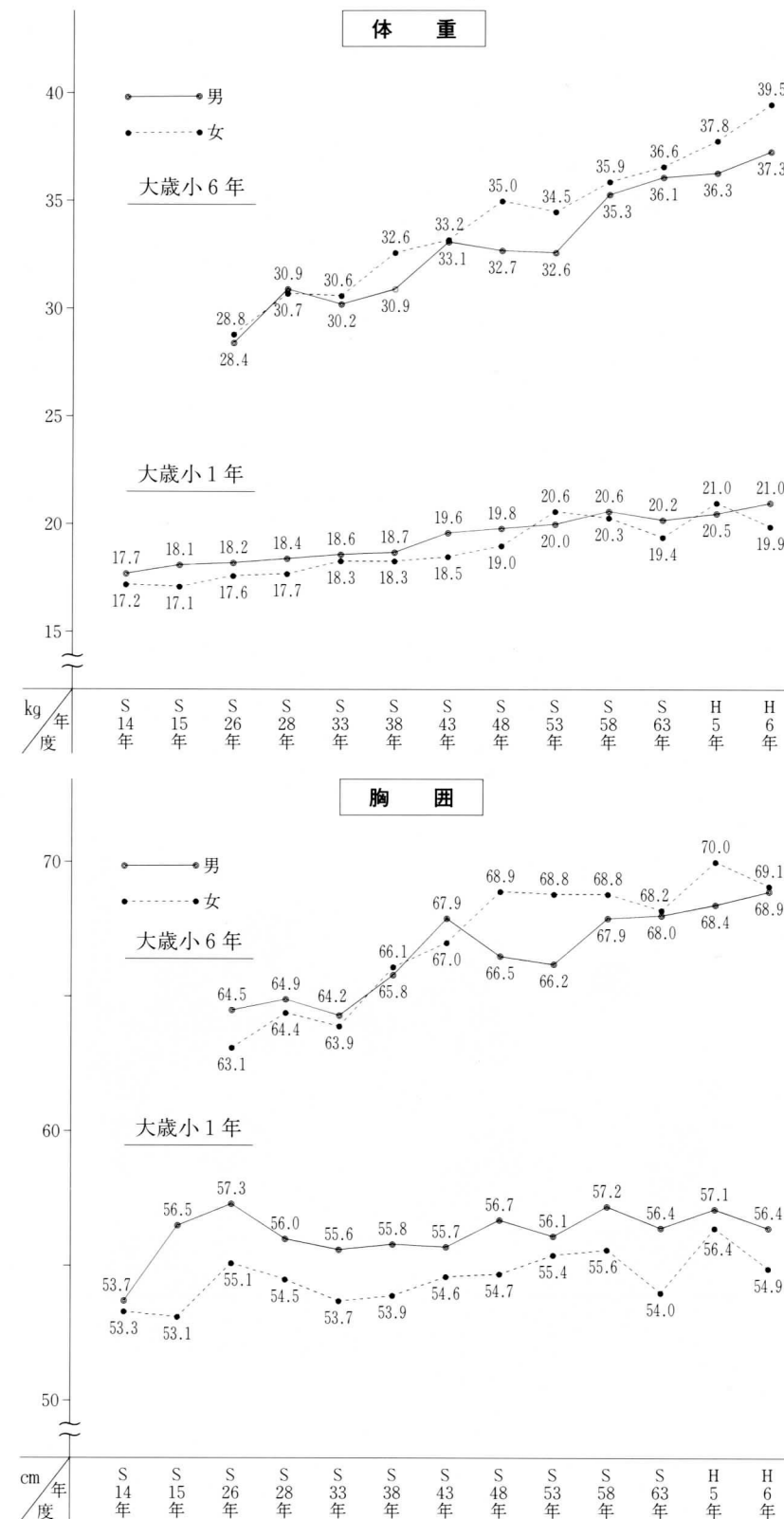
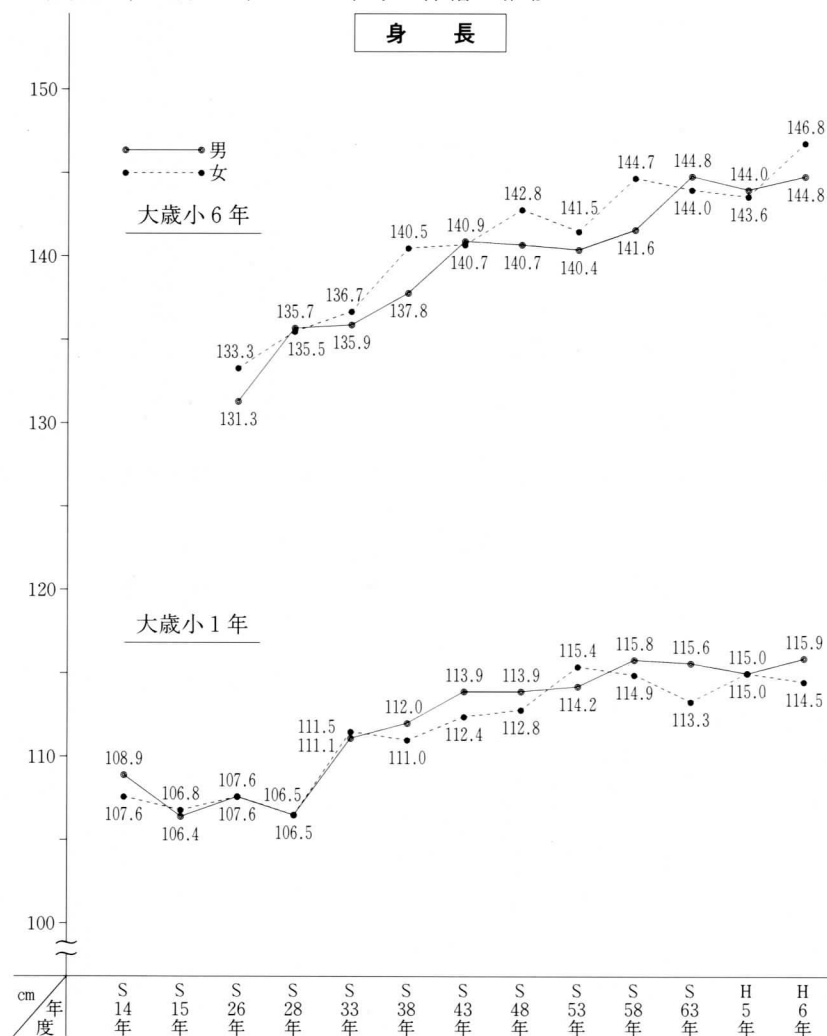
(資料2)

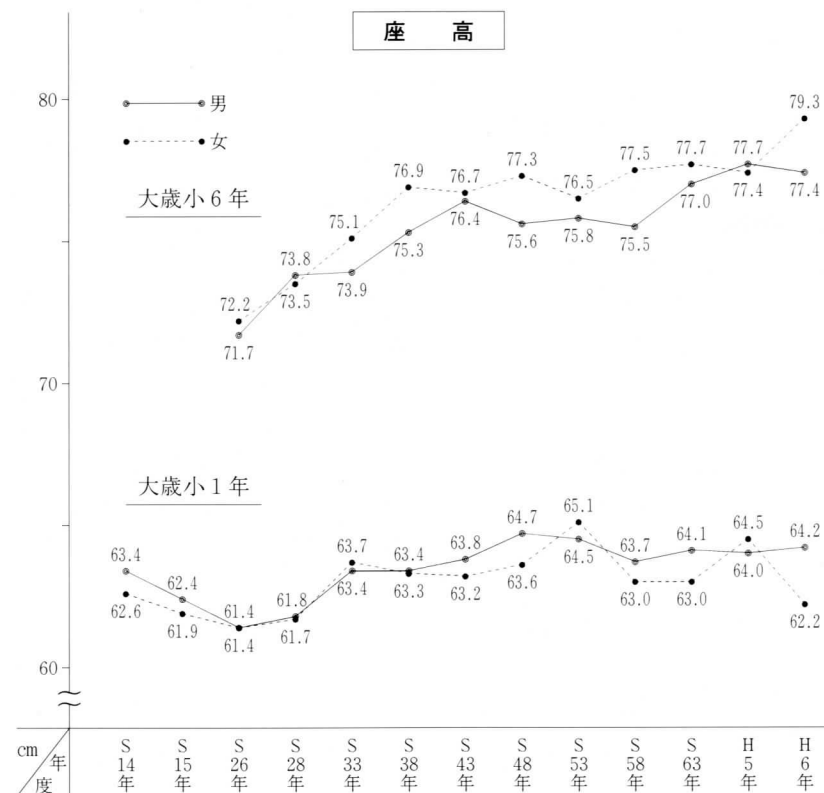
〈入学時から5年間の平均体位の増加量〉





(資料3) 昭和14年から5年毎の体格の推移





健康診断風景 (平成7年)

2. 昭和13年から現代までの疾病異常

①視力異常

昭和29年以前は5.5%台、30年以降女子では10%台を超え、43年に男子12.8%女子24.8%を示している。以後63年まで減少を続け、男4.6%女9.0%となる。しかし、平成元年度再び上昇傾向にある。

②う歯未処置者の急増

昭和28年以前は乳歯のう歯はあるが、永久歯のう歯はほとんどない。永久歯のう歯は38年以降増加し、60年53.7%とり患率が高くなり、平成元年度46%と次第に減少してきている。反面不正咬合、歯周疾患が増え始めている。

③その他の疾患

戦前から30年頃迄は、トラコーマ・円背の記録が目立つ。30年代以降トラコーマは減少し、38年以降結膜炎・鼻炎・咽頭炎等の疾患が多くなってきた。これはトラコーマの様な感染性の疾患から、アレルギー性の結膜炎・鼻炎・皮膚炎・喘息等、身体の内面から起こる非感染性の疾患の移行が伺われる。

平成7年度児童体位の平均値

(全国は平成6年度の平均値)

項 目	性別	年 齢	身 長 (cm)		体 重 (kg)		座 高 (cm)	
			大歳小	全 国	大歳小	全 国	大歳小	全 国
男 子		6	114.7	116.8	20.3	21.6	63.7	65.2
		7	122.5	122.7	24.2	24.3	67.7	67.9
		8	126.6	128.1	26.2	27.3	69.9	70.4
		9	131.7	133.5	28.1	30.7	72.1	72.8
		10	138.0	138.9	32.4	34.2	75.1	75.1
女 子		11	142.8	144.9	36.1	38.4	77.0	77.6
		6	114.6	116.1	20.2	21.2	63.5	64.8
		7	120.0	121.8	22.7	23.7	66.8	67.5
		8	126.3	127.6	26.1	26.8	69.8	70.1
		9	130.9	133.4	28.2	30.3	71.3	72.8
子		10	138.6	140.1	32.9	34.6	75.0	76.0
		11	145.7	146.7	37.7	39.4	79.0	79.3

(執筆 永久篤子)

4) 学校給食の変遷

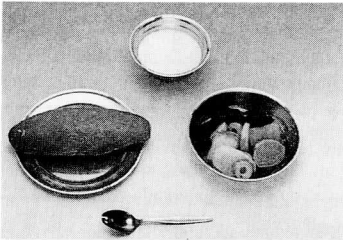
(1) 山口市及び大歳小の学校給食のあゆみ

山口市では、昭和26年2月から一部の学校で完全給食が実施され、昭和29年6月の学校給食法制定により、逐次他の学校にも普及し、昭和38年までにはほとんどの小学校が週5回完全給食実施となった。

戦後の栄養状態の悪化から、栄養補給の目的ではじめられた学校給食であるが、次第に学校教育の一環として位置づけられるようになった。

現在、山口市立の小学校18校、中学校1校が完全給食を、中学校10校がミルク給食を実施している。

- 昭和22年1月 ララ物資、占領軍放出物資による給食開始
- 24年9月 ユニセフ給食実施
- 26年4月 大歳小完全給食実施（用務員室での炊きだしによる給食開始）
- 29年6月 学校給食法制定
- 33年12月 大歳小給食室新設
- 38年4月 山口市内ほとんどの小学校で完全給食週5回となる
- 43年 大歳小土曜牛乳開始
- 46年 学校給食のための所要栄養量基準の改訂
- 47年 米飯の導入はじまる
- 54年9月 大歳小給食室改築（ガス回転釜、焼物機など設備）
- 56年 米飯給食週2回実施
- 58年 大歳小土曜牛乳中止
- 61年2月 食品の栄養量改訂に伴い、学校給食所要栄養量基準の改訂
- 62年 米飯給食週3回実施
- 平成2年4月 大歳小学校に栄養職員配置
- 6年3月 大歳小6年対象の卒業お祝いバイキング給食実施



昭和39年ごろの献立
パン、ミルク(脱脂粉乳)おでん



平成7年の献立



現在の給食室

(2) 学校給食費

昭和39年度には27円だった給食費も平成7年度には225円と10倍近く値上がりしている。下表は、1人1食当たり平均給食費の推移。（『山口市学校保健会沿革史』）

年度	小学校	中学校	年度	小学校	中学校
昭和39年	27円	30円	昭和55年	180円	200円
40	35	40	56	180	200
41	40	52	57	180	200
42	45	54	58	180	200
43	48	56	59	185	210
44	49.60	56.86	60	185	210
45	57	67	61	185	210
46	61.28	72	62	185	210
47	68.47	79	63	185	210
48	85.65	105	平成1年	185	210
49	124.78	131	2	185	210
50	134.07	140	3	185	210
51	159.60	180	4	225	210
52	168	180	5	225	270
53	170.94	180	6	225	270
54	172.05	200	7	225	270

(3) 学校給食の所要栄養量

平成7年には、文部省より児童1人1回当たりの平均所要栄養量の基準の改訂もあり、栄養面もより確立された。

区 分	栄 養 量			
	児童（6歳～7歳）の場合	児童（8歳～9歳）の場合	児童（10歳～11歳）の場合	中学校生徒の場合
エネルギー(kcal)	590	640	720	820
たん 白 質 (g)	22	25	29	32
脂 肪 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の25～30%			
カルシウム(mg)	275	290	370	430
鉄 (mg)	3.0	3.2	3.5	4.0
ビタミンA(IU)	600	675	750	880
ビタミンB ₁ (mg)	0.37	0.40	0.46	0.51
ビタミンB ₂ (mg)	0.51	0.55	0.63	0.70
ビタミンC(mg)	22	22	25	27

(注) この所要栄養量の基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、性別、学年、個人及び地域等の変動要因に十分配慮し、弾力的に適用すること。〈文部省基準〉

(4) 学校給食の内容

戦後の開始当時の給食は、食糧不足による児童の救済が主な目的であったが、現在では、豊富な食事情の中で自分の健康を考えて食べる給食、例えば、2～3種類の中から1種類を選ぶ選択給食、バイキング給食、児童からのリクエスト給食なども行われるようになった。

平成7年度 学校給食年間計画表

山口市立大歳小学校

月	給食目標	栄養指導	活動内容	学期を通して
4	楽しい給食をしよう	3つの食品群とその働き	アレルギー調査(全学年) 校長室での会食(6年生グループ別)	リクエスト献立(中学年) 多目的ホールでの学年別交流給食(高学年)
5	正しい食事の仕方を身につけよう	規則正しい食生活	行事食(端午) 1年生給食開始 1年生給食参観日	クラス掲示用給食・栄養指導 セレクトメニュー(予約あり) 給食放送・おたよりカード
6	衛生に気をつけて給食しよう	歯や骨を丈夫にする食べ物	歯の衛生週間	郷土料理、世界の料理 手作り給食
7	好き嫌いをなく食べよう	おやつを選び方	行事食(七夕)	
9	準備を早くしよう	からだの調子をよくする食べ物		リクエスト献立(低学年) 多目的ホールでの学年別交流給食(中学年)
10	何でも食べて丈夫な体をつくらう	体を強く大きくする食べ物		クラス掲示用給食・栄養指導 セレクトメニュー(予約なし) 給食放送・おたよりカード
11	感謝して食べよう	食べ物の本当の味	音楽会お弁当給食	郷土料理、世界の料理 手作り給食
12	みんなで協力してなごやかに食べよう	力や体温のもとになる食べ物	行事食(クリスマス、冬至、年越しそば) 栄養指導	
1	後片付けを正しくしよう	冬の食生活	行事食(七草) 学校給食週間(1/24～1/30)	リクエスト献立(高学年) 多目的ホールでの学年別交流給食(低学年)
2	食後は静かに休もう	かむ力を強くする食べ物	行事食(節分)	クラス掲示用給食・栄養指導 セレクトメニュー(予約なし) 給食放送・おたよりカード
3	1年間の反省をしよう	バランスのよい食事のとり方	行事食(ひなまつり) 6年生卒業お祝いバイキング 1～5年生セルフお弁当給食 ☆3/15(金)	郷土料理、世界の料理 手作り給食

10月のこんだてより
103 今津くんの
リクエストメニュー
でした。
魚ミンチとやさいの
ハンバーグ

材料	分量 (1人分)	作りお
白身魚ミンチ	20g	1. 材料をみじん切りに して混ぜ合わせ、 形をととのえる。
豚肉ミンチ	20g	
干しいたけ	0.5g	2. フライパンにサラダ 油を敷き、焼く。
ピーマン	5g	
にんじん	2g	3. 好みのソースをかけ て食べる。
たまねぎ	10g	
ホールコーン	3g	
ねぎ	2g	
しょうが	0.2g	
牛乳	2g	
卵	6g	
パン粉	適量	
水	〃	
塩こしょう	〃	
コンソメ	〃	
サラダ油	〃	

児童のリクエスト献立～例～

★602 福谷さんのリクエストメニューでした。12月の
～マッシュルームのスパゲティ～

材料	分量(1人分)	作りお
スパゲティ	30g	① スパゲティは少し固めにゆでる。
ベーコン	20g	
マッシュルーム(缶)	25g	② ベーコンせん切り、 マッシュルームスライス、 たまねぎスライス、 にんじんせん切り、 にんにく、パセリは みじん切りにして、 バターで火がめ、味 つけをする。(パセリは 最後に加える)
たまねぎ	60g	
にんじん	10g	③ ②に①を加えて炒め、 最後に粉チーズを ふいてでき上がり。
にんにく	0.5g	
パセリ	1g	
バター	1g	
赤ワイン	1g	
トマトケチャップ	15g	
コンソメ	1g	
塩こしょう	少々	
粉チーズ	1g	

卒業おめでとう バイキング給食

みなさんはもうすぐ卒業ですね。

3月15日は、みなさんの卒業をお祝いするバイキング給食です。お友達といっしょに会食し、小学校生活の楽しい思い出をつくってください。

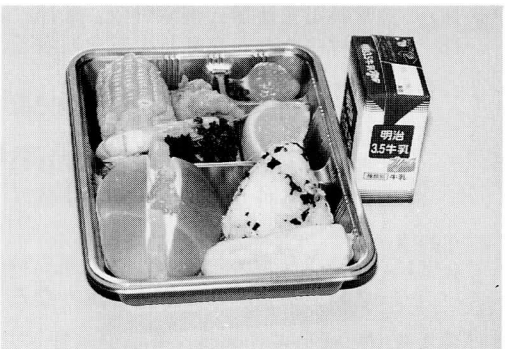


卒業祝バイキング給食

バイキング給食とは

バイキングとは、海賊のことです。豪華に盛り付けたたくさんの種類の料理を卓上に並べて飾り、各自で好きなものを好きなだけとりわけて食べる形式の料理を「バイキング料理」といいます。

バイキングという映画が上映されて、食べ放題の大宴会を開いている場面がありましたが、これにヒントを得て、この名前がつけられました。北欧のレストランで始められましたが、日本でも昭和33年頃に帝国ホテルの食堂にとり入れられました。



卒業祝バイキング給食献立

注意することは

- *栄養のバランスを考えてとりましょう。
- *友達のことも考えて、端の方から順にじょうずにとりましょう。
- *自分で選んでとったものは、残さないようにしましょう。
- *楽しい話題で、なごやかな会食にしましょう。



卒業祝バイキング給食

献立は

赤の食品 (血や肉や骨になる)	黄の食品 (熱や力のもとになる)	緑の食品 (体の調子をととのえる)
※ (トンカツ フライドチキン ※ (厚焼き卵 オムレツ ※ (ゆでえび いかやき 牛乳	※ (わかめむすび ゆかりむすび ※ (フルーツサンド ウインナーサンド 青リンゴゼリー カップケーキ	グリーンサラダ いちご オレンジ とうもろこし プチトマト パセリ

※はどちらかを選択しましょう。
そのほかは全員が一個ずつとりましょう。

(執筆 篠原智子)